



第94号

発行所 酒井重工業株式会社
 住所 東京都港区芝大門1-4-8
 電話 03-3434-3401
 FAX 03-3434-3419
 発行人 加藤 孝

3度目の「ほこ×たて」

～最強ローラ vs. 最強ポール さて結果は？～

2013年8月4日(日) FNS27 時間テレビ“女子力全開”の中のバラエティクイズ番組「ほこ×たて女子生対決」生放送スペシャルで最強ローラ対最強ポールの対決が放映されました。

前々回(2012年1月15日放映)の対決では、SV900DV(19t 土工用振動ローラ、スムーズドラム仕様)が安全ポールを率いたポストフレックス社と壮絶な戦いの末、見事散り花を咲かせ敗戦の将となってしまいました。また、前回(2012年9月23日放映)の対決では、リベンジ戦として、SV512T(10t 土工用振動ローラ、タンピングドラム仕様)が最新のスーツケース「コスモライト」を率いたサムソナイト社と戦々恐々とした思いの中で、ようやく勝利を掴み、リベンジを果たす事ができました。

今回は、女子力全開がテーマであり、我社の“希望の星”「小葉はるな」女史の登場です。対戦相手は前々回で苦汁を味わった同様安全ポール(株式会社太陽企画の北野文子社長)。優しそうな社長の目の中に勝負師としての輝きを感じました。生放送で緊張する中、エンジン全開、「行くぞ!!!」との掛け声で前進、最初のポールは無振動、2番目のポールは

速度速めの振動 MAX。「潰れない・潰れない・・・」、応援団が固唾を飲んで最後のポールに挑みます。振動 MAX の SV512D(10t 土工用振動ローラ、スムーズドラム仕様)がゆっくりとポールに近づきます。小葉女史の「潰れる!!!」の声が響きます(写真1)。



パフォーマンス中の SV512T



写真1:「潰れる!!!」

ドラムがポールの上で振動しポールを潰していきます。ローラが通り過ぎ、カメラがポールにズームアップ。対決結果は、所定の角度まで潰れず「惜敗！」(写真2)となりました。小葉女史の目に光るものを確認しつつ番組が終了しました。番組終了後の対決者同士が互いに称えあう姿(写真3)は、いつもに増して清々しさを感じさせました。最後に女子力全開と言うことで、応援頂いた「なでしこエンジニアの会」に感謝致します(写真4)。



写真2：結果は？残念でした



写真3：北野文子社長と小葉はるな女史



写真4：「美女と野獣」と大応援団

2020年 東京オリンピック招致決定！！

オリンピック、パラリンピックはイスタンブール（トルコ）、バルセロナ（スペイン）とのコンペに勝ち、東京での開催が先日決定致しました。東京での開催は2回目であり、アテネ、パリ、ロンドン、ロサンゼルスと並び夏季五輪での複数回数開催都市の仲間入りを果たし、名実共に世界主要都市として再認識される大会になると確信しています。これに伴い我々を取り巻く環境も大きく変化し、公共事業の投資額も大きなものになると予想されます。メイン会場、選手村、首都高速を中心とした道路整備等、当社製品の活躍の場も大きく拡大される事になると思います。

また、福島原発問題の解決も安倍首相の発言で世界公約としての確実なる位置づけとなり、日本政府としてこれを成し遂げねばならない大きな責務を負ったことは言うまでもありません。これにより震災地の復旧復興も加速されていくでしょう。

当社もこれらの成功の一助となるよう努力する所存であります。

さあ、7年後に向けてお客様と共に大きなウェーブを決めようではありませんか。

新製品紹介

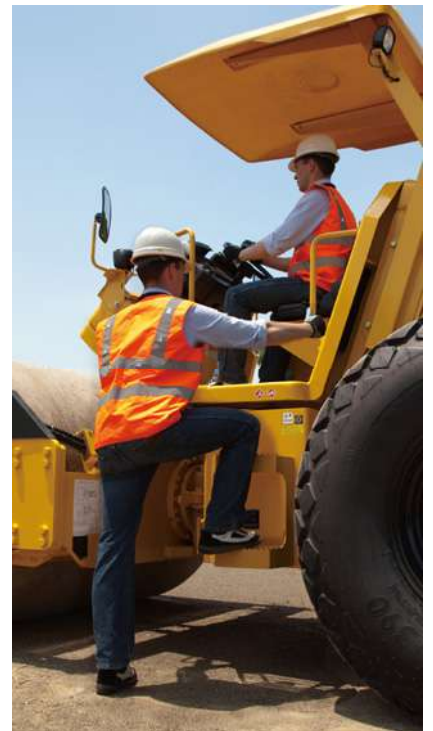
～世界にはばたく土工用振動ローラ SV520/620シリーズ～

この度、酒井重工業は国内を含むグローバルな市場開拓を目指して新しい土工用振動ローラを発売致しました。今回ご紹介するのは、海外新興国（2次排ガス規制対応）向けに開発されたSV520及びSV620シリーズです。

本機は、海外の土工用振動ローラ市場の中で最も需要のある重量区分10～13tonの市場を2種類のローラ（SV520は10ton、SV620は12.5ton）で対応するように設定されています。また、本機は、顧客満足度の向上を目指すために以下の特長を有しています。



- (1) **クラス最大の締固め性能**：クラス最大の振動仕様（起振力、振幅等）により、深さ方向により均一で、更に高い締固め密度を早く得ることができます。これにより、目標密度に達するまでの締固め回数を低減できるので施工効率の向上に寄与することができます。
- (2) **ECOモード**：通常使用するエンジン回転数よりも低い回転数でも既定の振動仕様を確保できるECOモードは、燃料消費量を従来機比で約20%低減することができます。これにより、ライフサイクルコストの低減が期待できます。
- (3) **クラス最低床の運転席デッキ**：運転員が昇降し易く、また運転中も目線が地上に近いので、安全・安心感を提供しています。これにより、運転員の疲労低減に寄与することができます。また、当社独自のフットブレーキは、運転員が自動車感覚で操作できるため、緊急時でもより安全に停止させることができます。
- (4) **グランドメンテナンス**：地上からの日常点検を可能とするグランドメンテナンスは、運転員（メンテナンス員）の安全性向上、疲労軽減等に寄与しています。



クラス最低床の運転席デッキ

今後も酒井重工業は、お客様に満足頂ける製品開発を引き続き進めて参ります。

ある町この道シリーズ⑱ ～国道45号線 南三陸～



津波標識

付くのは坂の途中に「過去の津波浸水区間 ここから（ここまで）」という標識が数百メートルおきぐらいに設置されていて注意を促している事でした。また、瓦礫がうず高く積まれた集積所やビルが横倒しや廃墟となったままになっていたり大きな傷跡がまだまだ残っていました。大勢の方が亡くなられた南三陸町の防災対策庁舎跡も見ましたが、結構高い鉄骨の上にまで津波が押し寄せて来たというのはその場で俄かには信じられませんでした。後にその時の屋上からの写真を Web で見ましたが、屋上も含め周り一面濁流に飲み込まれている恐ろしい光景に驚愕しました。

その他にも JR 東日本気仙沼線の寸断された橋脚や気仙沼の町に座礁し、今は解体が始まっている第十八共徳丸も間近で見て、津波の破壊力やエネルギーの凄まじさに人間はとても太刀打ち出来ないなと感じました。一方で津波で海水をかぶった地面にも勢いよく雑草が生えてきていて自然の再生力にも舌をまきました。とはいっても現地の方々もコツコツと瓦礫を片付けここまで復興してきている訳で自然と人間との永遠の戦場を見た思いです。



第十八共徳丸

7月に仙台に行く機会があったので、国道45号線を北上し、気仙沼まで行き、東日本大震災の復興状況を見ました。国道45号線は仙台を起点とし、塩釜、松島、石巻、気仙沼、大船渡、釜石、宮古、久慈、八戸を経て十和田で国道4号に接続する、東北地方東部の太平洋沿岸沿いに走る道路です（総距離510.7km）。

塩釜から石巻まではこの幹線道路を走っている分には震災の傷跡はそれ程残っておらず、復興が進んでいるように感じました。しかし、石巻から南三陸町に入ると様相は一変します。この辺りはリアス式地形で各入江が全て津波に呑み込まれてしまった為、復興にはまだ相当な時間が掛かるように思いました。道路を走っていてまず目に



南三陸町防災対策庁舎跡



気仙沼線の寸断されたままの橋脚

7年後に東京オリンピック招致が決まりましたが、全世界の人達に福島第一原子力発電所も含めて日本の復興した姿を胸を張って見せられるよう国民一人一人が協力しなければと感じました。また来ようと誓って、国道45号線を後にしました。